

みずほCustomer Desk Report 2023/03/06 号 (As of 2023/03/03)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	136.71
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	136.73	1.0599	144.84	1.1950	0.6733
SYD-NY High	136.76	1.0638	145.03	1.2048	0.6775
SYD-NY Low	135.75	1.0589	144.29	1.1945	0.6725
NY 5:00 PM	135.81	1.0634	144.45	1.2043	0.6769
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,390.97	387.40	日本2年債	▲0.0500%	▲0.0100%
NASDAQ	11,689.01	226.02	日本10年債	0.5000%	0.0000%
S&P	4,045.64	64.29	米国2年債	4.8596%	▲0.0276%
日経平均	27,927.47	428.60	米国5年債	4.2475%	▲0.0651%
TOPIX	2,019.52	24.95	米国10年債	3.9566%	▲0.1030%
シカゴ日経先物	28,205.00	500.00	独10年債	2.7100%	▲0.0350%
ロンドンFT	7,947.11	3.07	英10年債	3.8535%	▲0.0265%
DAX	15,578.39	250.75	豪10年債	3.8970%	0.0390%
ハンセン指数	20,567.54	138.08	USDJPY 1M Vol	11.85%	▲0.03%
上海総合	3,328.39	17.74	USDJPY 3M Vol	11.50%	▲0.11%
NY金	1,854.60	14.10	USDJPY 6M Vol	11.02%	0.05%
WTI	79.68	1.52	USDJPY 1M 25RR	▲1.84%	Yen Call Over
CRB指数	275.05	3.75	EURJPY 3M Vol	10.65%	▲0.08%
ドルインデックス	104.52	▲ 0.51	EURJPY 6M Vol	10.63%	0.06%

東京	朝方発表された東京CPIはコアコアが予想を上回り136.50までわずかに下落するも、ほぼ予想通りであったことから値を戻し、東京時間のドル円は136.73レベルでオープン。前日137円定着とならなかったことや、米金利が上昇一服したことを受けてドル円も上値の重い推移となり、クロス前に米金利の下落主導で136.43まで付け、136.46レベルでクロス。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、136.46レベルでオープン。週末の戻り売りや米10年債利回りの下落を背景に、アジア時間の流れを引き継いだ上値重い展開に。特段の材料はなく、じりじりと値を切り下げの中で一時135.99円まで売られる場面もあったが、結局136.24レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場では週末の調整とみられるドル売りや、円買いも強まり、ドル円は上値を重くし、136.24レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ135.81まで下落する。その後は米2月サービス業PMI(確報値)が予想を若干上回り、2月ISM非製造業景況指数も予想を上回ったことから136.40まで戻す。その後は一旦低下が止まっていた米金利がISM非製造業の仕入価格が前回から低下したからか、再び低下する展開に、ドル売りが強まり136.07まで下押しするが、来週のパウエル議長の議会証言を前に半期報告書が公表され、インフレ抑制には継続的な利上げが必要との見解が示されたことから、136.41まで戻す。午後は米金利低下に連れて135.75まで下落し、135.81レベルでクロスした。一方、ユーロドルは海外市場でドル売りが強まったことから1.0629まで戻し、1.0612レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ1.0629まで戻すが、米ISM非製造業景況指数結果を受けたドル買いに1.0589まで反落する。Fedの半期報告書公表を受け再びドル買いが強まる局面もあったが、午後は米金利低下を受けたドル売りに、ユーロドルは1.0638まで戻し、1.0634レベルでクロスした。

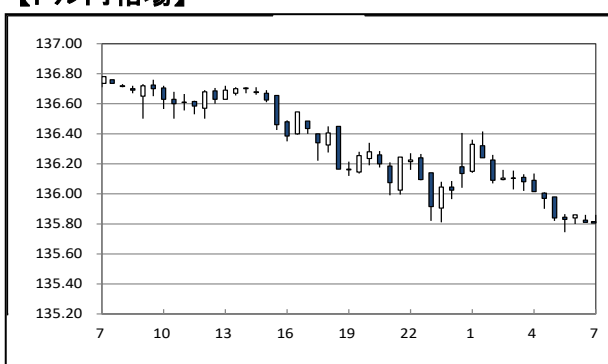
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月3日	10:45	中 Caixin中国PMI(サービス業・コンポジット)	2月 55.0/54.2	54.5/-
	16:45	仏 鉱工業生産(前年比)	1月 -2.2%	0.2%
	16:45	仏 製造業生産(前月比)	1月 -1.8%	-0.3%
	16:45	仏 製造業生産(前年比)	1月 -0.7%	-
	16:45	仏 鉱工業生産(前月比)	1月 -1.9%	-0.2%
	17:55	独 S&P Global PMI(サービス業・コンポジット)確報	2月 50.9/50.7	51.3/51.1
	18:00	欧 S&P Global PMI(サービス業・コンポジット)確報	2月 52.7/52.0	53.0/52.3
	18:30	英 S&P Global PMI(サービス業・コンポジット)確報	2月 53.5/53.1	53.3/53.0
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	1月 -2.8%/15.0%	-0.4%/17.8%
	23:45	米 S&P Global PMI(サービス業・コンポジット)確報	2月 50.6/50.1	50.5/-
3月4日	00:00	米 ISM非製造業景況指数	2月 55.1	54.5

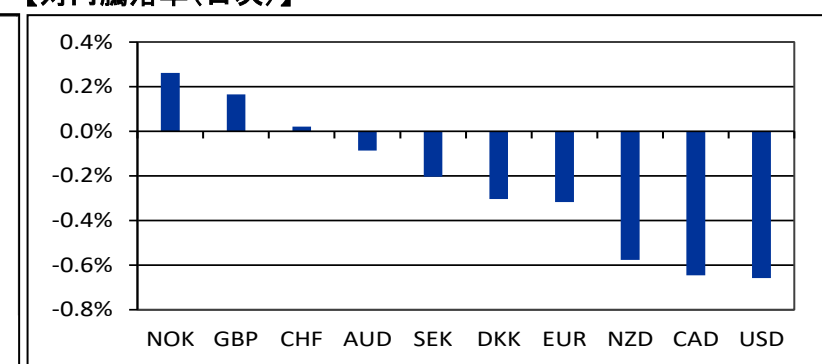
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月6日	19:00	欧 小売売上高(前月比)	1月 0.6%	-2.7%
3月7日	00:00	米 製造業受注(前月比)	1月 -1.8%	1.8%
	00:00	米 製造業受注(除輸送)	1月 1.0%	-1.2%
	00:00	米 耐久財受注(前月比)・確報	1月 -4.5%	-4.5%
	00:00	米 耐久財受注(除輸送用機器)・確報	1月 0.7%	0.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	135.00-136.50	1.0550-1.0700	143.50-146.00

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は136.73レベルでオープン。東京時間は136円台半ばでのみ合い推移となった。海外時間に入ると米10年債利回りの低下とともに136円割れまで下落。注目された米2月ISM非製造業景況が市場予想を上回ったこともあり136.40まで値を戻す。ただ、その後は再び米10年債利回りが低下する動きに135.75まで下落すると135.81レベルでクロス。本日のドル円は上値重い推移を予想する。
 今週はパウエルFRB議長の議会証言や日銀の金融政策決定会合、米2月雇用統計などの発表を控える中、本日は特段の材料はなく値幅の伴った値動きにはなりにくいか。足許の米10年債利回りは4%台から反落しておりドル円も上値重い推移を予想する。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 松木・大橋